

高齢者基礎調査について (素案)

平成28年7月27日

第4回練馬区介護保険運営協議会

- ・ 高齢者の生活状況やサービス利用の実態を把握し、新たな施策の検討および第7期計画へ反映
- ・ 日常生活圏域ごとにニーズを把握できるよう対象者を抽出する。（高齢者一般、要支援・要介護認定者調査）
- ・ 従来の5つの分野に加え、施設入所者調査を設けることで、高齢者向け施設のニーズをより詳細に把握する。
- ・ ひとりぐらし高齢者向けの設問を設けることで、単身者特有の課題について把握する。

	第6期	第7期
1	高齢者一般調査【2,300人】	高齢者一般調査【2,300人・50問程度】 介護保険の認定を受けていない区内在住の65歳以上の高齢者（うち単身者1,000人）
2	要支援・要介護認定者調査【2,700人】	要支援・要介護認定者調査【5,000人・50問程度】 介護保険の認定を受けている区内在住の65歳以上の高齢者のうち、要支援認定者（総合事業対象者も含む）1,500人（うち単身者800人）、要介護認定者3,500人（うち単身者800人）
3	これから高齢期を迎える方の調査【800人】	これから高齢期を迎える方の調査【800人・50問程度】 介護保険の認定を受けていない区内在住の55歳から64歳までのこれから高齢期を迎える方
4	特別養護老人ホーム入所待機者調査【2,982人】	特別養護老人ホーム入所待機者調査【1,800人・45問程度】
5	介護サービス事業所調査【929事業所】	介護サービス事業所調査【1,090事業所・50問程度】
6		施設入所者調査【2,400人・30問程度】 既に有料老人ホーム、認知症対応型グループホーム、サービス付高齢者向け住宅に入所している高齢者

※1 上記以外にケアマネジャー調査（認知症GHなどのサービスニーズ、徘徊者数等を把握）、都市型軽費老人ホーム入所者調査を実施する予定

※2 「介護する家族の就労継続を効果的に支援する介護サービスのあり方に係る調査」が、秋頃に厚生労働省から依頼がある予定